

益田市立 雪舟の郷記念館

Sesshu Memorial Museum

2026.10.3(Sat) Renewal Open



第1
展示室

益田市立雪舟の郷記念館リニューアルオープン記念特別展開催！！

令和8年10月3日（土）～11月30日（月）

寧波と益田ーもう一つの海のシルクロードー

益田市が友好都市提携を結ぶ中国・寧波市は、古くから国際貿易都市として栄え、明代には日本船の入港地に指定されていました。勘合を有する遣明船はこの港を目指して渡航し、多くの舶来品を日本にもたらしました。

日本海に面し天然の良港を有する益田も、豊富な材木や鉱物資源を背景に日本海交易の拠点として発展し、寧波を経て多くの物資がもたらされたと考えられています。

こうした交流の中で、文化を求めて海を渡った人物が画僧・雪舟等楊です。雪舟は応仁元年（1467）に遣明船で寧波へ渡り、中国各地で名品に学びました。帰国後、益田もその創作活動の重要な拠点の一つとなり、益田氏が所持した『益田兼堯像』（益田市立雪舟の郷記念館蔵）や『四季花鳥図屏風』（京都国立博物館蔵）、萬福寺・医光寺に伝わる庭園などにその足跡が残されています。

本展では、交易と文化を通じて海を越えて結ばれていた寧波と益田の関係を、出土品や美術作品から紹介します。それは東へと延びるもう一つの「海のシルクロード」を探る試みでもあります。



重要文化財
雪舟等楊／竹心周鼎賛
『益田兼堯像』
益田市立雪舟の郷記念館蔵
【前期展示】



重要文化財
雲谷等與／天祐紹杲賛
『雪舟等楊像』
山口県立美術館蔵
【前期展示】



重要文化財
雲谷等益／玉宗瑠賛
『雪舟等楊像』
山口市・常栄寺蔵
（山口県立美術館寄託）
【後期展示】



益田市指定文化財
『華南三彩貼花文五耳壺』
益田市・萬福寺蔵



益田市指定文化財
高村光雲
『雪舟禪師像』
益田市立雪舟の郷記念館蔵

前期:10月3日（土）～10月31日（土）

後期:11月1日（日）～11月30日（月）

※一部展示替えがあります。

寧波市と益田市の交流 ～雪舟がつないだ、海を越える友情～



雪舟ゆかりの歴史を礎に、平成3年10月20日、友好交流議定書を締結した寧波市と益田市。以来、文化・スポーツ・農業・経済など、さまざまな分野で交流を重ねてきました。友好交流議定書締結35周年を記念し、これまでの交流の中で寧波市から益田市へ贈られた記念品などを、雪舟の郷記念館と歴史文化交流館「れきしーな」展示ルームで公開します。



「景德鎮花器一对」
高さはなんと157cm！
5周年の記念品。



▲「寧波府図」(唐土勝景画稿)

雪舟筆唐山勝景画稿(原本雪舟、江戸時代の模写)の寧波府部分。平成16年、寧波市から贈られた正絹織物。
※歴史文化交流館「れきしーな」展示ルームで公開



◀楊雪峰「古代貿易船の模型」

明の時代の貿易船。上海交通大学の研究成果に基づき制作されたもの。30周年の記念品。

同時開催

水墨の精華—受け継がれる水墨の美—



市立雪舟の郷記念館のリニューアルオープンを記念し、現代を代表する水墨画家の作品を紹介します。雪舟から受け継がれた日本独自の水墨画は、現代においても新たな表現へと広がり続けています。伝統と革新が織りなす、水墨画の豊かな世界をぜひご覧ください。

現代水墨画家7名から寄贈された作品を初公開▶

荒井 克典
岡原 鬬鶴
小林 東雲
新田 芳道
中村 紫苑
濱中 応彦
藤原六間堂

(敬称略・五十音順)



小林東雲『白鷹図』



岡原鬬鶴『雪舟渡明図』



新田芳道『soko ni wa』

会場：市立雪舟の郷記念館

開館時間：9:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日：毎週火曜日[ただし11/3(火・祝)は開館]、11/4(水)

入館料：一般500円(400円) / 小中高150円(120円)

※()内は20名以上団体料金および各種割引料金

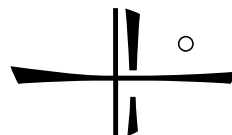
※電子決済が利用できます

★1枚のチケットで2つの展覧会を観覧できます！

最新の情報はこちら！



雪舟の郷記念館 Instagram



益田市立 雪舟の郷記念館

Sesshu Memorial Museum